

令和2年度 町内会活動等への参加に関する職員アンケート調査結果（概要版）

- 調査の目的 職員の町内会加入状況や活動への参加状況、意識等に関する基礎データの取得
- 調査期間 令和2年9月23日（水）～令和2年10月30日（金）
- 調査方法 紙媒体の調査票を対象者全員に配付し、当該調査票又はHARP（北海道電子自治体共同システム）活用による回答を依頼
- 調査対象 全職員（再任用職員を含み、会計年度任用職員を除く。）
※育児休業など長期休業中の職員は回答不要とした。
- 回答数／配付数 2,689件（紙媒体 1,497件、HARP 1,192件）／2,990件 ※回答率：89.9%

■町内会加入状況

これまでの調査結果を踏まえると、加入率は概ね77～80%で推移している。

	H19		H24		H29		R2		前回増減
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
加入している	1,973	79.5%	1,821	77.3%	1,184	78.7%	2,082	77.4%	-1.3
加入していない	504	20.3%	510	21.7%	319	21.2%	602	22.4%	+1.2
無回答	5	0.2%	24	1.0%	2	0.1%	5	0.2%	+0.1

※年齢別では40歳代、50～60歳代、役職別では係長職～課長補佐職、課長職以上、再任用で85%以上が加入。10～20歳代では約46%が加入。

■町内会活動の状況

町内会に加入する職員の半数以上は、行事参加など実質的な町内会活動を行っている。

役員として活動している・・・294人（14.1%）	行事等に参加している・・・627人（30.1%）
行事等の運営に関わっている・・・196人（9.4%）	会費のみ負担している・・・893人（42.9%）

■町内会活動に対する意識

参加の仕方についての考えは様々であるが、参加自体には積極的な回答が6割以上を占めている。

市職員は町内会活動に積極的に参加すべき・・・144人（5.4%）
活動の仕方は別としても、少なくとも市職員は町内会に加入すべき・・・515人（19.2%）
市職員であるかに関わらず、地域住民が公平に参加すべき・・・986人（36.7%）
市職員であっても、参加は個人の自由・・・987人（36.7%）

■加入していない理由

町内会からの案内や説明がない又は不十分との理由が最も多く、約4割を占めている。

町内会から加入の案内や説明がない又は不十分だから・・・231人（38.4%）
町内会活動に関心がない、又は加入の必要がないと思うから・・・86人（14.3%）
いずれ転居するので限られた期間しか地域と関わらないから・・・78人（13.0%）

■住居の形態と町内会加入率の関係性

加入率は、持ち家（一戸建て）では高く、賃貸マンション・アパートでは低い傾向が見られる。

持ち家（一戸建て）で加入している・・・1,660人/1,734人（加入率95.7%）
賃貸マンション・アパートで加入している・・・282人/751人（加入率37.5%）